

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	白山台放課後等デイサービス Cocotte		
○保護者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	8年 1月 7日		8年 1月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 2日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内のレクリエーションのみではなく、様々な場所への外出も行い、児童が社会経験や体験をすることが出来る。日々の活動でも買物体験や、掃除など実践的な活動を行うことで、生活スキルを身に付ける機会を設けている。	公共施設や店舗を利用し、マナーや金銭管理を実体験として学ぶ機会を創出している。事業所内でも、家庭の手伝いに活かせるように「掃除機掛け」「食器洗い」など、個々の児童にあわせた内容で無理のないように進めている。	事業所での練習成果を家庭でも再現できるよう、保護者と情報を密に共有する。事業所と家庭が一体となって生活スキルの定着を支援する体制を構築する。
2	ご家庭や学校での困り感に対し、ご家族、ご本人様にいつでも面談、電話相談など対応できるようにしている。また、連絡帳でも些細なことでも気軽に書いていただいている。	連絡帳の密なやり取りに加え、送迎時の対面コミュニケーションを重視し、些細な変化も共有している。	日々の活動の中で、お子様が勇気を出して挑戦したことやお友達に優しくできた瞬間など、数値化できない『心の成長』を具体的に記録し、保護者へ共有する。ご家庭での称賛の材料を提供することで、お子様の自信を育み、家族全体の笑顔を増やす取組を強化する。

3	個別活動の他、毎日、5領域のバランスをみながらレクリエーションを設けている。	お子様の今の流行りや興味関心を丁寧にリサーチし、日々のプログラムの導入に活用している。「遊び」の中に5領域の要素をバランスよく盛り込むことで、無理なく楽しみながら、心身の健やかな発達を促す工夫をしている。	お子様自身が「今日はこれをやりたい!」と主体的に選択できるプログラムの幅を広げる。個々の「得意なこと」を活かした役割分担（リーダーや準備係など）を設けることで、自信を育み、集団の中での社会性をより一層高める支援を充実させる。
---	--	--	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の場の活用や地域住民、児童館や放課後児童クラブと交流する機会がない。	感染症対策や日々のカリキュラム優先により、外部機関とのスケジュール調整が不十分であった。	児童館などと連絡を取り合いながら、交流ができる機会を設けていく。また、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。
2	保護者同士の横のつながりや、意見交換の場がなかった。	個別の相談対応に注力していたため、集団でのワークショップや茶話会の設定まで至らなかった。	まずは『保護者同士で話したいことがあるか』『どんな情報が欲しいか』をアンケートで把握する。ニーズに合わせて、年1~2回程度の少人数制ワークショップや、外部講師を呼ばない気軽な情報交換会を計画する。
3	インターネットを通じた、日々の活動内容の発信不足。	お子様のプライバシー保護やセキュリティ対策の検討に慎重になり、年度内の運用開始に至らなかった。	適切な画像加工（顔隠し等）等を整備し、ブログ等を開設する。お子様の「興味」を活かした活動の様子を、保護者がいつでも閲覧できる環境を整える。